

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年2月13日)

- 1 鳥取県版国土強靱化地域計画の策定状況について
【技術企画課】・・・1ページ
- 2 国土交通省による重点「道の駅」の選定について
【道路企画課】・・・3ページ
- 3 山陰近畿自動車道整備推進東京大会の開催結果について
【道路企画課】・・・6ページ
- 4 第3回米子駅南北自由通路等整備事業協議会の概要について
【道路建設課】・・・別 冊
- 5 第1回鳥取県地震防災調査研究委員会及び第1回津波浸水想定部会の開催結果について
【河川課】・・・8ページ
- 6 小松谷川(日野川(指定区間))河川整備計画について
【河川課】・・・10ページ
- 7 『これは事件だ!?!』鳥取砂丘コナン空港オープニングセレモニーについて
【空港港湾課】・・・12ページ
- 8 梓予算(単県公共事業)の執行状況について
【技術企画課・河川課・治山砂防課・空港港湾課】・・・13ページ
- 9 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【技術企画課・道路建設課・河川課】・・・16ページ

県 土 整 備 部

鳥取県版国土強靱化地域計画の策定状況について

平成27年2月13日
技術企画課

国において「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」(国土強靱化基本法) が平成25年12月に公布・施行されたことを受け、鳥取県版「国土強靱化地域計画」の策定を進めているところであり、その策定状況について報告します。

記

1 プロジェクトチーム会議の開催状況等

(1) 構成

統轄監(チーム長)、各部長、企業局長、病院事業管理者、教育委員会教育長、警察本部警備部参事官

(2) 開催状況

ア 第1回会議

平成26年4月23日(水)

概要については、5月12日開催の常任委員会で報告済。

イ 第2回会議

平成26年12月24日(水)

(3) プロジェクトチーム会議を踏まえた策定方針

ア 国の「国土強靱化基本計画」を参考とし、「起きてはならない最悪の事態」を回避するための施策等の現状を整理し、事態毎に施策等の分析・評価(脆弱性評価)を実施する。(現在、脆弱性評価の最終精査中)

イ 計画策定には、民間(ガス、電力等)の取組も盛り込む。その際、地域防災計画やBCPを参考とする。

ウ 民間、学識経験者等で組織する策定検討委員会を設置する。

エ 計画案に対しての策定検討委員会の意見及び県民意見募集を経て、平成27年度秋頃策定・公表予定とする。

オ P D C Aサイクルにより施策の達成度や進捗管理並びに必要な見直しを行っている。

2 スケジュール

	H26年度				H27年度					
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地域計画策定	脆弱性の分析・評価の検討				地域計画(素案)作成 ※次頁参照		地域計画(案)作成			
策定検討委員会			○			○			○	
		有識者意見聴取			第1回委員会		第2回委員会			
プロジェクトチーム	○					○			○	
県民意見募集					←→					

3 策定検討委員会(案)

各施策分野における産・官・学の有識者により構成

施策分野	委員(案)	施策分野	委員(案)
①行政/警察・消防	市長会、町村会等	⑦情報通信	NTT、報道機関
②住宅・都市	鳥取大学(都市)	⑧産業構造	商工会議所
③環境	鳥取環境大学	⑨農林水産	JA等
④保健医療・福祉	県医師会等	⑩交通・物流	JR等
⑤エネルギー	中国電力	⑪国土保全	鳥取大学(防災)
⑥金融	県銀行協会	⑫土地利用	

その他、地域防災団体、建設関係団体

鳥取県版国土強靱化地域計画（素案）

■鳥取県版国土強靱化地域計画骨子（案）

第1章 鳥取県における強靱化の基本的な考え方	
1	強靱化の理念
2	強靱化を推進する上での基本的な方針
3	基本的な進め方
第2章 脆弱性の評価	
1	評価の枠組み及び手順
2	脆弱性評価の結果
第3章 鳥取県における強靱化の推進方針	
1	強靱化に関する施策の分野
2	強靱化の推進方針
第4章 計画の推進と不断の見直し	
1	他の計画等の必要な見直し
2	計画の進捗管理
3	計画の不断の見直し

■脆弱性の評価（例）

1-5 大規模な土砂災害（深層崩壊）等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり県土の脆弱性が高まる事態

起きてはならない最悪の事態

施策分野	現在の取組
行政/警察・消防	【危機】市町村への的確な情報提供と訓練の実施
農林水産	【県土】山地災害防止対策の実施
国土保全	【県土】砂防堰堤等施設整備の促進
	【県土】土砂災害警戒情報等の提供や土砂災害（特別）警戒区域の指定の促進
	【県土】防災教育・裏山診断等の実施により住民の防災意識の向上
	【県土】土砂災害危険箇所の点検の実施 【県土】土木防災・砂防ボランティアの協力による点検・防災教育の実施

最悪の事態を回避するための取組状況

脆弱性の評価結果	
○	市町村が迅速、的確に災害対応に当たることができるよう、情報の提供や助言、訓練実施の協力などを行っていく必要がある。（危機）
○	土砂災害対策として砂防堰堤等施設整備の実施。しかしながら、この対策は、比較的小規模な流域あるいは地区を対象としており、深層崩壊等を対象とした大規模かつ広域的な調査は未実施の状況である。（県土）
○	平成26年8月の広島土砂災害の要因の一つと考えられる風化花崗岩（マサ土）及び大山周辺火山性堆積物が分布する地域の危険箇所の点検・調査を実施し、その危険度を住民に周知するとともに、優先的に施設整備を図る。（県土）
○	改正土砂災害防止法に基づき、基礎調査結果の公表による住民への土砂災害にかかる危険性周知及び土砂災害警戒区域等の指定促進を図る。また、住民への的確な土砂災害警戒情報等を提供するため、情報システムの改良や情報伝達手段の一層の複数化を実施するとともに、情報の精度向上を図る必要がある。（県土）
○	地域防災力強化のため、防災教育や裏山診断等を実施し、地域住民の防災意識の向上を図る必要がある。（県土）
○	治山施設や森林整備等による山地災害防止対策を実施するとともに、定期点検等を実施し、必要に応じて補修や修繕を行う必要がある。（農林・県土）
（重要業績指標）	
【危機】	市町村における土砂災害を想定した訓練実施率（100%）
【県土】	土砂災害特別警戒区域の指定率 （レッド区域：68%（H26）→95%（H27）、イエロ-区域：100%（H26））
【県土】	土砂災害危険箇所の要対策箇所の整備率（25%）
【県土】	山地災害危険地区整備率（37%）

現行施策の分析・評価

進捗状況を把握する指標

国土交通省による重点「道の駅」の選定について

平成 27 年 2 月 13 日
道 路 企 画 課

平成 27 年 1 月 30 日（金）に、国土交通省から重点「道の駅」の選定についての記者発表がありました。

鳥取県内からは、昨年 10 月に、道の駅を設置（予定）している市町から以下の 2 駅について地域活性化の拠点となる企画提案を行っていたところ、全国で 35 駅選定された重点「道の駅」に 2 駅とも選定されました。

この重点「道の駅」は、地方創生の核として国交省による重点的な支援が行われます。

【鳥取県内で選定された重点「道の駅」】

1 道の駅「神話の里白うさぎ」

地域外から活力を呼ぶ「ゲートウェイ型道の駅」として選定

企画概要： 山陰海岸ジオパークや古代山陰道など歴史・自然の継承を担い、周辺観光施設や他の「道の駅」との連携拠点を目指す。

設置位置： 鳥取市白兎（国道 9 号沿い）

設置者： 鳥取市

設置年度： 平成 17 年度

2 道の駅「にちなん」（仮称）

地域の元気を創る「地域センター型道の駅」として選定

企画概要： 6 次産業化を推進し、地場産業の創出、地方移住や社会福祉支援の拠点機能を担う。

設置位置： 日南町生山（主要地方道新見日南線沿い）

設置者： 日南町

設置年度： 平成 28 年度（予定）

※ 重点「道の駅」… 地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるもの

<参考>

○道の駅制度は平成 5 年に創設され、現在では全国に 1,040 駅、鳥取県内に 12 駅整備。

○今春には、以下の 2 駅が新たに「道の駅」として登録される予定。

・道の駅奥大山（仮称）：江府町佐川地内の国道 181 号沿いに今春オープン予定

・道の駅いわみ（仮称）：岩美町新井地内の国道 9 号沿いに今夏オープン予定。

○1 月 29 日（木）に、県内の「地域振興」及び「地方創生」の一翼を担う「道の駅」に発展させていくことを目的として、三朝町長の発声により、「道の駅」を設置（予定含む）している市町村と道路管理者で組織する『鳥取県「道の駅」連絡会』が設立されました。

（中国 5 県では、山口県を除き、各県の「道の駅」連絡会は設立済。）

【鳥取県「道の駅」連絡会の概要】

- 1 目的：県内の「道の駅」を有する市町村長が相互に協力し、道路管理者と連携を図りながら、県内の「地域振興」及び「地方創生」の一翼を担う「道の駅」に発展させていくこと。
- 2 構成者：県内の「道の駅」設置者及び設置予定者の 12 市町村（鳥取市、倉吉市、岩美町、若桜町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、大山町、江府町、日南町）及び道路管理者（国、県）
- 3 役員：（会長）山下琴浦町長、（副会長）榎本岩美町長、竹内江府町長
〈事務局：国交省鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、鳥取県〉

重点「道の駅」制度の概要

- 全国各地で「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展しています。
- この動きを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施します。



〈重点「道の駅」に想定される機能〉

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能
地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等

インバウンド観光の促進
外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、
海外対応ATM 等

地方移住等の促進
地方移住のワンストップ窓口
ふるさと納税の情報提供 等

「道の駅」が
活力を呼び、雇用を創出、
地域の好循環へ



地域の元気を創る 地域センター型

地域の産業振興
地方特産品のブランド化、6次産業化 等

地域福祉の向上
診療所、役場機能、高齢者住宅 等

高度な防災機能
広域支援の後方支援拠点、防災教育 等



地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に
発揮していると認められるもの

全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、
さらなる機能発揮を重点支援



地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援
で効果的な取組が期待できるもの

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、
関係機関が連携し、重点支援



地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的
な取組が期待できるもの

関係機関が連携し、企画検討等を支援

重点「道の駅」 全 35 箇所

(ゲートウェイ型)

主な機能	都道府県	市町村	駅名	主な特長
インバウンド観光	北海道	ニセコ町	ニセコビュープラザ	国際リゾート地”ニセコ”におけるインバウンド観光拠点
	栃木県	那須町	那須高原友愛の森	国際観光地として外国人観光客対応に向けた機能強化
	千葉県	神崎町	発酵の里こうざき	町の資産である発酵文化を「道の駅」を核として世界に発信
	静岡県	伊豆地域	伊豆道の駅ネットワーク	伊豆半島内の8駅をネットワーク化し、地域の多様な観光情報発信
	兵庫県	神戸市	(仮称)神戸北	神戸ブランドや神戸観光の拠点として、国内・海外に発信
	愛媛県	今治市	しまなみ海道周辺「道の駅」	サイクリストを国内外の観光客を地域の周遊観光へ呼び込む
観光総合	北海道	石狩市	(仮称)あつたか・あいろーど	国道231号の「情報発信機能」として地域へ呼び込むゲートウェイ機能
	岩手県	陸前高田市	高田松原	震災の実情と教訓を国内・海外に向けて発信
	宮城県	大崎市	あ・ら・伊達な道の駅	地域資源(伊達政宗の史実等)を活用した観光拠点
	秋田県	にかほ市	象潟	環島海地域のゲートウェイとしてワンストップで総合観光情報発信
	山形県	米沢市	(仮称)よねざわ	山形県広域観光のゲートウェイとなる観光総合窓口設置
	福井県	大野市	(仮称)結の故郷	「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」の核とし、地域資源情報発信
	長野県	青木村	あおき	「体験学習の村」の体験交流拠点機能の拡充
	愛知県	豊田市	どんぐりの里いなぶ	地域の体験観光の総合窓口機能集約や、地方移住に係わる情報提供
	和歌山県	太地町	(仮称)たいじ	「くじらの町」太地のゲートウェイとして歴史・文化の情報発信
	鳥取県	鳥取市	神話の里白うさぎ	神話「因幡の白うさぎ」など歴史・自然の観光を展開
	山口県	下関市	蛸街道西ノ市	街道の歴史・文化を伝える活動や「ほたる舟ツアー」を実施
	佐賀県	鹿島市	鹿島	干潟環境教室を「道の駅」を中心に実施し、観光交流人口拡大
移住	広島県	尾道市	クロスロードみつぎ	地元高校と連携し、インターンシップ実施。地元での就労を促す
	熊本県	小国町	小国	移住定住対策や観光総合機能等、さらなる機能強化を図る

(地域センター型)

主な機能	都道府県	市町村	駅名	主な特長
産業振興	北海道	当別町	(仮称)当別	地域資源である農産物を農商工が連携し6次産業化
	茨城県	常陸太田市	(仮称)常陸太田	体験農場施設としてトマトハウス整備や地場産品を活用し体験・交流
	岐阜県	大野町	(仮称)大野	特産品のバラ苗や柿を中心とした産業振興拠点
	兵庫県	朝来市	但馬のまほろば	天空の城「竹田城」等を活かし、産業・雇用等の機能強化
	鳥取県	日南町	(仮称)にちなん	まちを創生するための拠点(コンパクト・ヴィレッジ)を形成
島根県	浜田市	ゆうひパーク浜田	女性・若者の交流拠点や地域産品のオリジナルレシピを発信	
地域福祉	千葉県	睦沢町	つどいの郷むつざわ	「スマートウェルネスタウン」の中核拠点
	長野県	飯島町	(仮称)田切の里	「道の駅」を地域福祉の拠点として、宅配サービスなど実施
	新潟県	十日町市	瀬替えの郷せんだ	夏と冬でせんだ元気ハウスを活用した農業実習、除雪ボランティア
	高知県	梶原町	ゆすはら	「ゆすはらまるごとクリニック」構想の拠点施設とし健康増進
	福岡県	うきは市	うきは	高齢者や女性がいいききと働き・暮らすための拠点とした整備
防災	福島県	猪苗代町	(仮称)いなわしろ	火山や豪雪等のあらゆる災害に対応した総合防災拠点
	新潟県	妙高市	あらい	豪雪地帯にあって、環境・観光にも配慮した新たな防災拠点
	和歌山県	すさみ町	(仮称)すさみ	南海トラフ巨大地震時の避難場所等の広域防災拠点として整備
	高知県	須崎市	かわうその里すさき	津波避難タワー等を新設し地域の防災拠点として防災機能強化

山陰近畿自動車道整備推進東京大会の開催結果について

平成 27 年 2 月 13 日
道 路 企 画 課

1 月 23 日（金）に衆議院第 1 議員会館多目的ホールにて、鳥取県、京都府、兵庫県の関係者約 200 名（うち鳥取県約 50 名）が一堂に会し、「山陰近畿自動車道」の整備推進に向けて、整備の必要性や平成 27 年度予算の確実な箇所付け等を直接国に要望しました。

1 大会の概要

日 時	平成 27 年 1 月 23 日（金） 正午～午後 1 時
場 所	衆議院第 1 議員会館 1F 多目的ホール（東京都千代田区永田町二丁目 2 番 1 号）
主 催	「山陰近畿自動車道整備推進協議会」（三府県知事で構成、会長：京都府知事） 「山陰近畿自動車道整備推進議員連盟」（三府県国会議員有志で構成、会長：石破大臣）
出席者	国 土 交 通 省：深澤道路局長 三 府 県 知 事：平井鳥取県知事、山田京都府知事、井戸兵庫県知事 国会議員連盟：石破大臣（会長）、赤澤衆議院議員、舞立参議院議員、 谷垣自民党幹事長（京都）、谷衆議院議員（兵庫）、外 全 9 名 三府県議会議員の会：山口鳥取県議会議員（会長）、福田鳥取県議会議員（会計監事）、外 全 7 名 関係市町長：榎本岩美町長、羽場鳥取市副市長、外 全 10 名 関係市町議会：鳥取市議会、岩美町議会、外 沿線市町村議会 そ の 他：三府県の観光、商工関係者

2 主な発言

発言者	発言要旨
石破大臣	まさしく国家としてやらなければいけないこと。政府与党一体となって皆様の力を借りながら、実現が一日でも早くなるよう最大限の力を尽くしていきたい。
深澤 道路局長	この道路の意義について疑う余地はない。今、大きな時期を迎えているのは認識しており、進め方に地域の事情はあるが、一緒になって国土交通省も精一杯頑張っていきたい。
谷垣 自民党幹事長	石破大臣の号令のもと地方創生、地域にはこの道路が必要と主張して選挙を戦い当選させていただいた。幹事長として約束したことは必ずやると、皆様と一緒に実現させたい。
赤澤 衆議院議員	皆様の力を借りてインフラ整備の重要性が国民の共通認識となるようにしっかり努力を続けていきたい。
舞立 参議院議員	昨年 11 月に山陰海岸ジオパークによる地域活性化推進議員連盟を設立。外国人観光客 1 千万～2 千万を目指す状況の中、一日でも早い整備に向けて頑張っていきたい。

平井 鳥取県知事	地方創生の呼び声がかかり、三府県で約 1 億円を山陰海岸ジオパークの観光振興に積む意を決したが、道路が繋がらないとこの構想はまとまってこない。山陰道～福部 IC 間は計画段階評価につなげていただきたい。海と空と陸を繋ぐネットワークが完成する。
山田 京都府知事	日本の安心、次の世代の発展、地方創生のためにも今が決める時期。網野 IC～大宮森本 IC 間は直轄権限代行で、事業が途切れぬよう来年度に事業着手していただきたい。
井戸 兵庫県知事	豊岡北 JCT～久美浜 IC 間は直轄権限代行での整備、浜坂道路は平成 29 年度供用に必要な予算確保をお願いする。但馬は人口減少に悩まされており一日も早い完成を願っている。

第1回鳥取県地震防災調査研究委員会及び第1回津波浸水想定部会の開催結果について

平成27年2月13日
危機管理政策課
河川課

地震・津波被害想定の見直しと、これを踏まえた地震・津波防災対策の検討を行うため、「鳥取県地震防災調査研究委員会」を設置し、津波浸水想定の設定等に関する専門的な検討を行う「津波浸水想定部会」において、津波浸水シミュレーションを行う諸条件の設定に関する審議等を行いました。

1 鳥取県地震防災調査研究委員会の概要

(1) 目的

効率的・実効的な震災対策と県民の防災意識の高揚を図るため、最新の資料に基づく地震・津波被害想定とこれを踏まえた総合的な地震・津波防災に関する検討を行う。

(2) 部会

委員会に次の部会を設置し、技術的項目について専門的な審議を行う。

ア 被害想定部会・・・地震・津波被害の予測に関する内容を審議

イ 津波浸水想定部会・・・津波浸水想定に関する内容を審議

(3) 主な予定

地震・津波による被害想定と、これを踏まえた地震・津波防災対策の基本項目について、平成27年度末に報告書として取りまとめる。

(4) 第1回鳥取県地震防災調査研究委員会（平成27年1月26日午後2時から午後3時40分まで）
現在の地震・津波被害想定を見直すに当たって検討すべき、見直しの基本構想、想定地震、被害予測手法、結果の活用方法について審議し、11地震を想定することを決定した。

2 第1回津波浸水想定部会（第1回委員会に引き続き実施）

(1) 開催日時 平成27年1月26日（月）午後3時50分から午後5時30分まで

(2) 開催場所 鳥取県庁 第2庁舎4階 第33会議室

(3) 委員等 松原教授、西田名誉教授、香川教授、栢見教授、檜谷教授、黒岩教授、澁谷准教授
（以上、鳥取大）、遠田教授（東北大）、富山課長（鳥取市）、長戸課長（岩美町）

(4) 概要

ア 議事内容

「日本海における大規模地震に関する調査検討会」の結果（※）を受け、今後、津波浸水想定を行うに当り必要となる津波断層モデル及びパラメータの設定、潮位等のシミュレーション条件について審議いただいた。

また、公表された H26 国交省モデルによる仮シミュレーション結果から、現在公表している津波浸水想定より小さくなることを提示した。

※道府県における津波浸水想定を作成を支援するため、法律上の基礎調査として最大クラスの津波断層モデルを検討会において H26 年 8 月に設定し、国はこれを道府県に提示。

イ 委員からの主な意見

○津波断層モデルについては、H26 国交省モデルを基本とするが、遠地にある複数の断層の連動や、鳥取沿岸にある断層の傾斜を変更したモデルを追加して、参考に検討すること。

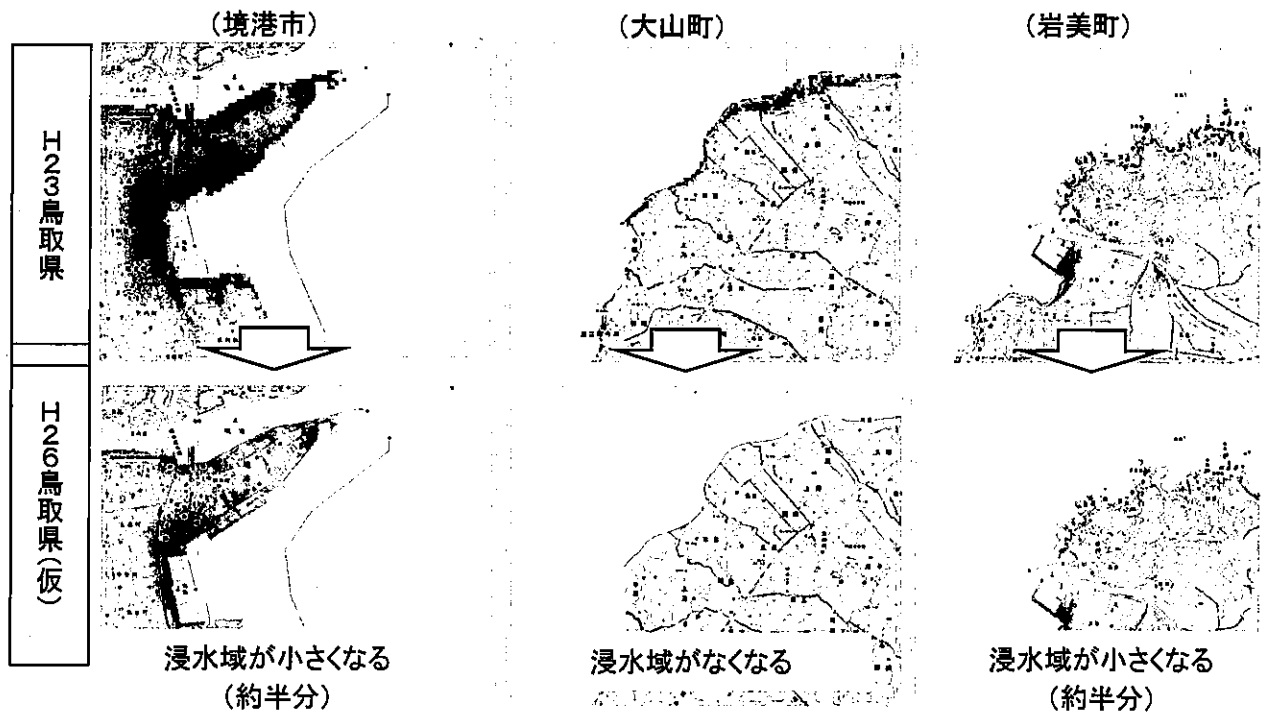
○潮位の設定について、近年の上昇傾向を考慮すること。

○沿岸市町村としては、津波浸水想定が小さくなるとしても、現在の防災体制を緩めるつもりはない。

ウ 今後の対応方針

本部会での意見を踏まえたシミュレーション結果（想定する津波断層モデルの追加、潮位の変更）を第2回部会（3月下旬予定）で提示し、津波浸水想定（案）等について審議していただく。

【仮シミュレーション結果の概要】



【市町村別最大波高の比較】

市町村	H23 鳥取県最大津波高	H26 鳥取県(仮)最大津波高
岩美町	5.22	5.5
鳥取市	6.27	5.4
湯梨浜町	5.62	3.4
北栄町	4.04	2.5
琴浦町	5.53	3.3
大山町	7.59	3.5
米子市	4.72	2.6
日吉津村	3.99	2.4
境港市	3.23	2.4

□ は最大波高を示す

(単位：m)

小松谷川（日野川（指定区間））河川整備計画について

平成27年2月13日

河 川 課

小松谷川沿川に位置する米子市青木地区は、平成23年9月の台風12号により家屋14戸の浸水被害が発生するなど、浸水常襲地区となっています。

今後、国及び米子市と連携して治水対策を進めるため、小松谷川（日野川（指定区間））河川整備計画※を策定しましたので、その概要を報告します。

（※日野川水系指定区間河川整備計画（平成17年6月策定）の変更）

1 整備計画の概要

(1) 堤防決壊による浸水被害が生じた昭和39年7月洪水を対象に対策を図る。

- ・ 1/50 確率規模：212mm/日
- ・ 第2青木橋地点計画流量：160m³/s

(2) 整備区間は、国管理区間上流端（第2青木橋）(0k400m) から朝鍋川合流点（4k300m）までの3.9km間としている。

<下流区間> (0k400m～1k500m)

法勝寺川本川の背水影響を受ける区間であり、堤防嵩上げ及び河道掘削による流下能力向上

<中流区間> (1k500m～3k000m)

ボトルネック部がある区間であり、堤防嵩上げによる流下能力向上

<上流区間> (3k000m～4k300m)

堤防断面が不足している区間であり、腹付け盛土による流下能力向上

(3) 整備期間は約30年を予定しているが、早期完了を図る。

なお、国では洪水時の水位低下を図るため、法勝寺川及び小松谷川の合流部において背割堤等の改築を進めているところです。

また、平成18年、平成23年に発生した浸水被害は本整備で概ね解消できる見込みです。

2 計画策定の経緯

(1) 住民説明会

米子市住民説明会（平成23年11月25日 米子市尚徳公民館）

南部町住民説明会（平成26年12月3日 南部町天萬庁舎）

米子市住民説明会（平成26年12月16日 米子市尚徳公民館）

(2) 河川委員会

第24回鳥取県河川委員会（平成26年6月26日 西部総合事務所）

第25回鳥取県河川委員会（平成26年11月10日 議会棟3階特別会議室）

(3) その他

関係市町への意見照会（平成26年12月19日～平成27年1月9日）

3 今後の予定

○1月28日 河川整備計画の申請

○3月上旬 交付金の交付申請・決定

○3月下旬 調査・設計業務発注（事業着手）

『これは事件だ?!』鳥取砂丘コナン空港オープニングセレモニーについて

平成27年2月13日
まんが王国官房
交通政策課
観光戦略課
空港港湾課

昨年11月に愛称が決まった鳥取砂丘コナン空港のオープニングセレモニーを次のとおり実施します。

1 オープニングセレモニーについて

(1) 第1部 記念式典

- ア 日時 平成27年3月1日(日) 午後1時～1時30分
- イ 場所 鳥取空港国際会館1階センタープラザ
- ウ 主催 鳥取県、鳥取空港の利用を促進する懇話会
- エ 内容 鳥取県警察音楽隊オープニング演奏
主催者あいさつ
来賓祝辞
くす玉開披
記念撮影(参加者全員)

(2) 第2部 オープニングイベント

- ア 日時 平成27年3月1日(日) 午後1時40分～2時20分
- イ 場所 鳥取空港国際会館1階センタープラザ
- ウ 内容 亜海れい子ミニコンサート
ファン向けイベント

2 関連行事について(いずれも3月1日(日)実施)

(1) 東京便到着者歓迎

- ア 到着時刻 12:00、14:45 到着便を予定
- イ 到着場所 空港ビル1階到着ロビー
- ウ 内容 到着ロビーにて到着者へ記念品(ボールペン、メインビジュアルチラシ・観光パンフ、缶バッジなど)を配布する。

(2) 空港連絡バス(ラッピングバス)乗客の見送り

- 12:00、14:45 到着便に合わせた空港連絡バス乗客の見送り
- ※3月1日から、空港連絡バスに鳥取砂丘コナン空港のロゴ・マーク、メインビジュアルを装飾する。(空港-鳥取駅間、空港-倉吉駅間を結ぶ連絡バス2台に装飾予定)

(3) オープニングセレモニー参加者対象記念ツアー

- ア 名探偵コナンに会えるまち北栄町満喫ツアー[北栄町主催:募集人員90名]
- イ 鳥取砂丘&マリニピア賀露満喫ツアー[鳥取市主催:募集人員30名]

(4) 鳥取砂丘コナン空港内覧会

- ターミナルビル制限区域を含む空港内装飾の内覧会を午前及び午後に数回実施する。

枠予算（単県公共事業）の執行状況について

平成27年2月13日

県土整備部

県の管理する土木施設について、年度当初に想定していなかった突発的事態に迅速に対応し、必要な調査又は維持・修繕を実施するための枠予算を設定している。

平成26年度における当該枠予算の執行状況は、次のとおりである。

○事業化検討基礎調査費【現計予算：21,000千円 執行見込額：20,935千円】

技術企画課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
鳥取地区	鳥取管内	5,500	H26.6.13 ～ H27.3.20	残土処分地候補地調査	鳥取西道路、岩美道路等の大規模土工工事により、今後も残土が多発に発生する見込みであり、鳥取西道路供用時期への影響の懸念や、既存の処分地の受入れが困難となる事態が危惧されることから、事業の円滑化を維持するため、処分地の適地検討を早急に行う必要があった。
外邑地区	岩美郡 岩美町外邑	3,000	H27.2 ～ H27.3	地質調査（調査孔ボーリング）	H27.1下旬に発生した地すべり性変状に対し、早急に地すべりの活動状況を把握するとともに今後の対策工（応急含む）検討に資する調査が必要となった。
八頭地区	八頭管内	2,785	H26.6.10 ～ H26.12.8	残土処分地候補地調査	鳥取西道路、岩美道路等の大規模土工工事により、今後も残土が多発に発生する見込みであり、鳥取西道路供用時期への影響の懸念や、既存の処分地の受入れが困難となる事態が危惧されることから、事業の円滑化を維持するため、処分地の適地検討を早急に行う必要があった。
県道倉吉江府溝口線	西伯郡 大山町大山	2,930	H26.10.7 ～ H26.12.25	交通実態調査	県道倉吉江府溝口線（大山環状道路）の秋の行楽シーズンの交通渋滞対策の社会実験を来年度実施するため、次年度当初からの検討業務を確実に実行できるように、今年度の行楽シーズンに合わせて交通渋滞の実態調査をする必要が生じた。
県道大山高原スマートインター線	西伯郡 伯耆町岸本	2,481	H26.10.7 ～ H26.12.26	測量設計（用地調査）	用地取得が難航し暫定供用していたが、地権者へ継続して交渉した結果、用地買収に際していただけることになり、急遽工事実施のための測量設計等委託費が必要となった。
小江尾川	日野郡江府町 小江尾	4,239	H26.7.23 ～ H26.12.1	河床洗掘対策検討	護岸崩壊・河床洗掘により帯工（砂防施設）、橋脚（道路施設）への影響が懸念されることから、早急に対策検討を行う必要があった。

○河川維持修繕費（河川（海岸）緊急修繕）【現計予算：25,000千円、執行見込額：25,000千円】

河川課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
湯山海岸	鳥取市 福部町湯山	4,695	H26.6.6 ～ H26.9.30	浮標灯修繕(LED灯具1灯)	浮標灯が故障したことから、取替えた。
岩美海岸(陸上地区)	岩美郡 岩美町陸上			浮標灯修繕(LED灯具2灯)	浮標灯が故障したことから、取替えた。
蒲生川外	岩美町地内	3,564	H27.2.10 ～ H27.3.15	倒木処理、河道掘削等	冬期の倒木及び異常出水等による河道埋塞及び護岸等の変状について、緊急的に処理した。
皆込谷川	八頭郡 若桜町岩屋堂	356	H26.5.9 ～ H27.3.16	袋型根固め工N=5袋	護岸基礎が露出し危険な状態であったため、袋型根固めを設置した。
春米川	八頭郡 若桜町春米	608	H26.5.9 ～ H27.3.16	袋型根固め工N=9袋	護岸基礎が露出し危険な状態であったため、袋型根固めを設置した。
千代川	八頭郡 智頭町郷原	56	H26.5.9 ～ H27.3.16	現地踏査(測量)	目視点検で護岸崩壊が確認されたため、現地調査(測量)を実施した。

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
千代川	八頭郡 智頭町市瀬	1,031	H26.5.9 ~ H27.3.16	陥没修繕V=0.25m3 落石・土砂撤去等	河川管理道内に陥没、落石などがあったため、修繕・撤去等を実施した。
北股川	八頭郡 智頭町芦津	452	H26.5.9 ~ H27.3.16	埋戻工V=10m3	既設護岸背面が陥没し危険な状態であったため、埋戻しを行った。
智頭町内 親水公園(3箇所)	八頭郡 智頭町地内	387	H26.5.9 ~ H27.3.16	ベンチ等N=6台撤去 枯れ木N=5本撤去 陥没修繕N=一式 等	親水公園内のベンチ等が老朽化し使用上危険な状態であったため、修繕及び撤去を行った。
波多川	八頭郡 智頭町波多	232	H26.5.9 ~ H27.3.16	埋戻工V=2m3	既設護岸背面が陥没し危険な状態であったため、埋戻しを行った。
横瀬川	八頭郡 智頭町中原	317	H26.5.9 ~ H27.3.16	埋戻工V=1m3	既設護岸背面が陥没し危険な状態であったため、埋戻しを行った。
私都川	八頭郡 八頭町鉅路	248	H26.5.9 ~ H27.3.16	コンクリート充填工V=0.25m3	護岸底部が吸出しを受け護岸崩壊の危険性があったため、コンクリート充填を行った。
私都川	八頭郡 八頭町麻生	68	H26.5.9 ~ H27.3.16	埋戻工V=5m3	既設護岸背面が陥没し危険な状態であったため、埋戻しを行った。
見槻川	八頭郡 八頭町見槻中	63	H26.5.9 ~ H27.3.16	埋戻工V=1m3	既設護岸背面が陥没し危険な状態であったため、埋戻しを行った。
東伯海岸	東伯郡 琴浦町八橋	3,750	H26.12.25 ~ H27.3.16	防潮扉設置 N=2基	防波堤の開口部(海岸への通路部)があり、風浪時に危険な状態であることから防潮扉を設置した。
大栄海岸	東伯郡 北栄町西園	1,250	H26.7.25 ~ H27.3.16	灯浮標チェーン等交換 N=1基	冬期風浪により灯浮標が破損したため、緊急的にチェーン等部品の交換を行った。
塩津海岸	西伯郡 大山町塩津	1,232	H26.10.10 ~ H27.1.27	袋詰玉石N=46個	緩傾斜護岸ブロックが冬期風浪による侵食を受けたことから護岸倒壊を防止するため、袋詰玉石による被覆保護を行った。
藤屋川	西伯郡 伯耆町船越	3,768	H27.1.29 ~ H27.3.20	護岸工A=100m2 掘削工V=280m3	経年変化による河岸侵食の進行が著しいため、護岸修繕及び河道掘削を図った。
日野川	日野郡 日南町生山	370	H26.7.29 ~ H26.8.4	立木伐採	河川内に植生した立木が国道通行車両の視界を妨げていたため、緊急的に撤去した。
石見川	日野郡 日南町下石見	560	H27.1.22 ~ H27.1.30	立木伐採	天然護岸の植生木により崩落の恐れがあったため、緊急的に伐採を行った。
佐木谷川	日野郡 日南町佐木谷	500	H26.8.27 ~ H26.9.20	大型土のう設置N=25個	平成26年8月の出水により天然護岸が流出したため、緊急的に大型土のうを設置した。
印賀川	日野郡 日南町宝谷	305	H26.6.26 ~ H26.8.4	立木伐採	天然護岸の植生木により崩落の恐れがあったため、緊急的に伐採を行った。
板井原川	日野郡 日野町根雨	410	H26.6.17 ~ H26.6.20	河床掘削V=100m3	水位観測局の水位計周辺に土砂が堆積し、水位が正確に測定できないため、緊急的に河床掘削を行った。
舟場川	日野郡 日野町舟場	45	H26.7.4 ~ H26.7.10	埋戻工V=10m3	既設護岸背面が吸出しを受け危険な状態であったため、コンクリート充填及び砕石を充填した。
小江尾川	日野郡 江府町小江尾	38	H26.7.24 ~ H26.9.5	立木伐採	河川内からの立木が公共物に干渉していたため、緊急的に撤去した。
俣野川	日野郡 江府町池ノ内	651	H26.10.30 ~ H26.11.17	立木伐採	天然護岸の植生木により崩落の恐れがあったため、緊急的に伐採した。
俣野川	日野郡 江府町日の詰	44	H26.9.16 ~ H26.11.17	流木撤去	流木による河川断面阻害が生じたため、緊急的に撤去した。

○砂防施設緊急修繕費【現計予算額：5,000千円 執行見込額：354千円】

治山砂防課

地区(路線)名	事業箇所	事業費 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
小江尾川	江府町小江尾	354	H26.5.30 ～ H26.6.3	護岸崩壊修繕 大型土のう設置 N=8袋 ブルーシート等 1式	小江尾川護岸が崩壊し、背後に道路や人家があり、梅雨及び出水期に更なる崩壊が懸念されるため、崩壊箇所をブルーシートで被い、法尻に大型土のうを設置した。

○治山施設緊急修繕費【現計予算額：3,000千円 執行見込額：2,994千円】

治山砂防課

地区(路線)名	事業箇所	事業費 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
山根地区	鳥取市青谷町山根	2,500	H26.11.18 ～ H27.3.2	支障木撤去 1式	既設法枠工枠内斜面からの立竹木が倒れかかり、治山施設前面の人家へ覆い被さる状況が確認されたため、支障木を伐採し、被害拡大を防止した。
大野地区	若桜町大野	248	H27.1.28 ～ H27.2.2	大型土のう再設置 1式	次年度工事のため残っていた仮設道（大型土嚢積み）が、積雪の重みと融雪により破損・転倒したため、早急に崩壊対策を行い墓地及び用水路への被害を防止した。
大内地区	智頭町大内	246	H26.8.12 ～ H26.10.30	土のう設置（土砂流出防止対策） 1式	平成25年8月5日の豪雨により、既設治山施設（流路工）上流から土砂が流出した箇所ので、残った不安定土砂の流下を防ぐよう土嚢を設置し、周辺人家への被害を未然に防止した。

○漁港施設緊急維持修繕費【現計予算額：2,000千円 執行見込額：2,000千円】

空港港湾課

地区(路線)名	事業箇所	事業費 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
網代漁港	岩美町網代	2,000	H27.2 ～ H27.3	漁港区域臨港道路除雪	網代漁港臨港道路において、積雪により水産物の運搬や出漁準備など漁業活動に支障が生じていることから、漁港機能の維持のため緊急的に除雪を実施した。

○港湾施設緊急維持修繕費【現計予算額：3,000千円 執行見込額：3,000千円】

空港港湾課

地区(路線)名	事業箇所	事業費 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
鳥取港	鳥取市港町	1,100	H27.2 ～	照明灯修繕 N=6基	鳥取港緑地において、暴風により照明灯が破損したため、夜間時の緑地利用者の安全を確保するために緊急に修繕工事を実施した。
鳥取港	鳥取市港町	500	H27.2 ～	灯浮標修繕 N=1基	鳥取港西浜航路において、風浪により灯浮標が流出したため、船舶の安全な航行を確保するために緊急に修繕工事を実施した。
田後港	岩美町田後	400	H27.2 ～	照明灯修繕 N=2基	田後港岸壁において、暴風により照明灯が破損し、利用者の夜間作業に支障が生じているため、緊急に修繕工事を実施した。
米子港	米子市旗ヶ崎	1,000	H26.10.7 ～ H26.10.16	臨港道路修繕 1式	米子港臨港道路において、道路の一部に陥没が発生したため、道路利用者の安全を確保するために緊急に修繕工事を実施した。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】					県土整備部		
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	備 考
道路建設課	国道181号江府道路下安井荒田橋上補工事(1工区)(補助改良)	日野郡江府町荒田	日本橋梁(株)広島営業所 所長 齋藤 隆幸	294,729,840円 (予定価格) 332,646,480円	平成27年1月8日 ~ 平成28年3月18日	平成27年1月7日	制限付 一般競争入札 (16社)

【変更分】					県土整備部		
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	備 考
技術企画課 (西船総合事務所 米子県土整備局)	寺谷川砂防災害復旧工事(1工区) (25年災42号)	西伯郡南部町下中谷	美保テクノス(株) 取締役社長 野津 一成	(当初契約額) 123,520,000円	平成26年2月24日	(当初契約年月日) 平成26年2月21日	
				(第1回変更後契約額) 130,509,360円 (変更額) 1,989,360円		(第1回変更契約年月日) 平成26年3月24日	
				(第2回変更後契約額) 130,509,360円 (変更額) 0円	(変更後工期) 平成27年2月2日	(第2回変更契約年月日) 平成26年10月30日	
				(第3回変更後契約額) 134,670,600円 (変更額) 4,161,240円		(第3回変更契約年月日) 平成26年11月26日	
技術企画課 (西船総合事務所 米子県土整備局)	寺谷川砂防災害復旧工事(2工区) (25年災42号外)	西伯郡南部町下中谷	(有)幸大建設 代表取締役 岸田 進	(当初契約額) 116,748,000円	平成26年2月27日 ~ 平成26年10月22日	(当初契約年月日) 平成26年2月26日	
				(第1回変更後契約額) 118,449,000円 (変更額) 1,701,000円		(第1回変更契約年月日) 平成26年3月24日	
				(第2回変更後契約額) 123,386,760円 (変更額) 4,937,760円	(変更後工期) 平成27年2月2日	(第2回変更契約年月日) 平成26年10月22日	
技術企画課 (西船総合事務所 米子県土整備局)	寺谷川砂防災害復旧工事(2工区) (25年災42号外)	西伯郡南部町下中谷	(有)幸大建設 代表取締役 岸田 進	(第3回変更後契約額) 123,386,760円 (変更額) 0円	(変更後工期) 平成27年3月25日	(第3回変更契約年月日) 平成27年1月20日	

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	備 考
道路建設課	国道178号(岩美道路)トンネル工事(仮称)岩美3号トンネル(補助)	岩美郡 岩美町 浦富 ～ 本庄	国道178号(岩美道路)トンネル工事(仮称)岩美3号トンネル(補助)大林・大成・八幡特定建設工事共同企業体 代表者(株)大林組 広島支店 常務執行役員支店長 鹿毛 重久	(当初契約額) 3,235,241,100円	平成24年10月16日 ～ 平成27年3月13日	(当初契約年月日) 平成24年10月15日 (第1回変更契約年月日) 平成27年1月23日	設計図書の変更のみ
道路建設課 〔鳥取県土整備事務所〕	県道鳥取河原用瀬線(橋原工区)橋梁上部工事(交付金改良)	鳥取市 橋原	県道鳥取河原用瀬線(橋原工区)橋梁上部工事(交付金改良) オリエンタル白石・藤原組特定建設工事 共同企業体 代表者 オリエンタル白石(株)鳥取営業所 所長 杉浦 章	(当初契約額) 179,388,000円 (第1回変更後契約額) 185,618,520円 (変更額) 〔 6,230,520円 〕	平成26年3月28日 ～ 平成27年1月26日	(当初契約年月日) 平成26年3月28日 (第1回変更契約年月日) 平成27年1月23日	
道路建設課 〔西部総合事務所 米子県土整備局〕	街路目久美町石井線橋梁拡幅工事(防災安全交付金)	米子市 目久美町	宇部工業(株) 代表取締役社長 河野 剛志	(当初契約額) 162,000,000円	平成26年10月2日 ～ 平成27年3月25日	(当初契約年月日) 平成26年10月1日 (第1回変更契約年月日) 平成27年1月20日	設計図書の変更のみ
河川課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	由良川改修工事(下部工)(1工区)(経済対策)	東伯郡 北栄町 瀬戸	(株)井中組 代表取締役 井中 紳二	(当初契約額) 99,144,000円 (第1回変更後契約額) 96,178,320円 (変更額) 〔 △2,965,680円 〕 (第2回変更後契約額) 95,805,720円 (変更額) 〔 △372,600円 〕	平成26年3月28日 ～ 平成26年11月21日 (変更後工期) 平成27年1月23日	(当初契約年月日) 平成26年3月28日 (第1回変更契約年月日) 平成26年11月18日 (第2回変更契約年月日) 平成27年1月7日	

